


【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：C-7-3
事業名：水産業共同利用施設復興整備事業（放置艇収容施設）
事業費：総額 391,923 千円 国費 293,942 千円 （内訳：設計費 28,587 千円、工事費 363,336 千円）
事業期間：平成 26 年度～平成 29 年度
事業目的：荷捌所等の漁港施設の災害復旧の進捗に伴い、プレジャーボート利用者の回帰が見込まれるため、被災前同様、漁船・プレジャーボートの棲み分けを明確化し、荒浜漁港内の安全確保及び利用の効率化を図るため、荒浜漁港フィッシャリーナを復旧整備することにより、漁港施設の円滑な復旧・復興を図る。
事業地区：荒浜地区
事業結果
○係留施設復旧工事 撤去工：一式 浚渫・床堀工：一式 防波突堤・波除堤工：基礎捨石 L=324.0m 浮棧橋工：主棧橋 (A) B=2.0m L=49.5m (B) B=2.0m L=46.8m (C) B=2.0m L=34.4m 補助棧橋：8m 級 18 基、10m 級 4 基、12m 級 2 基、14m 級 1 基、6m 級 1 基、18m 級 1 基 連絡橋：B=1.2m L=12.0m 3 基 係留杭 Φ 400 L=13.0m 17 本
○施設管理倉庫復旧工事 敷地面積：A=2,004 m ² 建物規模：鉄筋コンクリート造平屋建て A=60 m ² 主要室：事務室、ホール、倉庫 3 室、トイレ 2 室、多目的トイレ 土工：一式 下路盤工：A=1,741 m ² 上路盤工：A=1,741 m ² 表面工：A=1,747 m ² 区画線工：440m
○期間 平成 26 年度 復旧工事実施設計 平成 28 年度 施設管理倉庫復旧工事実施設計、復旧工事、駐車場舗装工事、 施設管理倉庫復旧工事監理業務委託


事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

○本事業において整備した係留施設では、40基が係留している。これらの実績から、本事業において整備した施設が、荒浜漁港内の安全確保及び利用の効率化に多大な貢献をしているものとする。

⇒ 上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。

② コストに関する調査・分析・評価

○国土交通省平成28新営予算価格に則り事業を推進したため、事業費は妥当といえる。

⇒ 上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想定事業期間	実際の事業期間
設計	平成27年3月～平成28年1月	平成27年3月～平成29年3月
工事	平成29年1月～平成30年1月	平成29年1月～平成30年3月

⇒ 想定事業期間を超えて整備を終えたが、利用者の意向把握や施工調整に努め、より良い施設とするための事業手法として妥当であったと判断する。

事業担当部局

巨理町商工観光課 観光推進班 電話番号：0223-34-0513